



平成28年5月16日

各 位

上場会社名 株式会社 フュージョンパートナー
 代表者 代表取締役社長 榎野 憲克
 (コード番号 4845)
 問合せ先責任者 経営管理本部長 呉 裕紀
 (TEL 03-6418-3960)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成27年8月6日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成28年6月期通期連結業績予想数値の修正(平成27年7月1日～平成28年6月30日)

	売上収益	営業利益	税引前利益	当期利益	親会社の所有者に帰属する当期利益	基本的1株当たり当期利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	2,500	600	640	420	420	28.65
今回修正予想(B)	2,680	580	790	530	530	36.15
増減額(B-A)	180	△20	150	110	110	
増減率(%)	7.2	△3.3	23.4	26.2	26.2	
(ご参考)前期実績 (平成27年6月期)	2,237	541	553	361	361	25.91

(注)

当社は、平成28年3月14日に発表いたしましたとおり、3月30日付で1,500,000株の公募、及び5月2日付で株式会社SBI証券を割当先として372,000株の第三者割当(オーバーアロットメント分)による新株式発行を行っております。その結果、本日現在の発行済株式総数は16,825,900株となっております。今回修正予想にかかる「基本的1株当たりの当期利益」は、当該新株式発行後の発行済株式数(自己株式数を除く)により算定しております。

修正の理由

売上収益については、複数のSaaS/ASPサービスの同時導入による月額利用料の積み上げや、顧客ニーズに合わせた新規サービス開発の売上が好調に推移していることから、前回予想を上回る見通しです。

しかしながら、営業利益については、受注案件増加に伴って開発エンジニアを中心とした採用強化による労務費・人件費の増加及びサーバ増強に伴う運用コスト増加により、前回予想を下回る見通しです。

一方、税引前利益については持分法適用関連会社である株式会社エイジアの株式を一部売却したことに伴い、売却益170百万円を計上するなどから、前回予想を上回る見通しです。

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上